

議事概要	司会進行		記録者	
	牛久市 経営企画部 政策企画課長 淀川		牛久市 経営企画部 政策企画課 主任 本谷	
1. 会議名	令和6年度 第2回牛久市まち・ひと・しごと創生推進会議			
2. 開催日時	令和6年10月21日(月) 13時30分～15時00分	開催場所	牛久市役所 分庁舎2階 第2会議室	
3. 委員 (敬称略)	出席者 (◎:会長)	氏名	所属・職名	
		宍塚 謙輔 大橋 澄子 橋本 庄司 岡本 直久 磯前 賢次 杉山 朋久 沖山 真智子 ◎鷹羽 伸一	牛久地区区長会 会長 岡田地区区長会 会長 奥野地区区長会 会長 筑波大学システム情報系 教授 常陽銀行牛久支店 支店長 龍ヶ崎公共職業安定所 所長 NPO法人 牛久コミュニティ放送 部長 牛久市 副市長	
4. 議題及び会議の公開又は非公開の別	公開	傍聴人の数	0人	
5. 事務局	牛久市 経営企画部 政策企画課			
6. 次第	1. 開会 2. 協議事項 (1) 各種実施結果報告について ①団体ヒアリングとりまとめ報告 ②市民ワークショップ実施報告 (2) 総合計画の策定に向けた課題の整理 (3) 牛久市人口ビジョン(案) (4) 総合戦略の策定に向けた課題の整理と骨子案 3. 閉会			
7. 議事内容	別紙参照			

別紙 議事内容

議事（1）各種実施結果報告について

発言者	内容
事務局	資料に基づき、各種実施結果報告について説明。
会長	ありがとうございます。資料1と資料2の経過報告に対して、ご質問あるいはご意見等ありましたら、委員の皆さまからお願いしたいと思えます。いかがでしょうか。 まだ、本題ではないですけれども、ワークショップやヒアリングで頂いた意見ということをもとめております。
委員	少し話が変わるかもしれませんが、健康福祉の分野で、うしタクは使いづらいという意見が出ています。あと、牛久市では今、かっぱ号が6台で運行していますが、去年、ダイヤの変更により、停留所が1つなくなってしまいました。私の行政区では高齢者が多く、その方の多くが500メートル歩く距離が増えたと言っています。城中のほうは元からそういった要望があり、その要望に応えた形になりましたが、今度は下町のほうが500メートル程歩かなければなりません。特にこれから高齢者が増えますので、やはり、市民の皆さんのために、そういった状況を考慮していただきたいなと思いました。
会長	分かりました。課題の整理のところと触れると思えますが、今の段階でのご意見として、事務局から何かありますか。
事務局	承知しました。かっぱ号、うしタクのご意見ありがとうございます。 かっぱ号、うしタクは、市民の方の日常の足という形で提供している事業でございます。今のダイヤ改正というお話は、運転手不足や働き方改革を受けての減便を伴うダイヤ改正でございます。城中と刈谷のところの関係で、近くの方々にとっては停留所が使えなくなったところが出たということについては、承知しているところです。 交通の関係は、全体にも出てきますが、市内全域、いわゆる市街地以外の部分は特に地域公共交通が薄くなる部分でございます。バス、タクシーのみならず、ほかのものも含めて組み合わせでやっているというところがございますけれども、全体の課題としては捉えておりますので、今後の課題の整理等にまた組み入れていきたいと考えています。以上です。
会長	ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。それでは、この後の課題の整理が終わってからまたご意見いただくようなことで、よろしいですかね。 課題の整理のご説明をお願いします。

議事（2）総合計画の策定に向けた課題の整理

発言者	内容
事務局	資料に基づき、総合計画の策定に向けた課題の整理について説明。
会長	先週の総合計画審議会でも、この部分について、いろいろご意見が出たと思うので、主なご意見を紹介してもらっていいでしょうか。
事務局	企業誘致等に関しては、環境のほうの分野から、ゼロカーボンシティや持続可能なというような表現を入れてくださいというような意見が出ております。

事務局	<p>私から補足します。課題の整理ということで、分野ごとにまとめているような形で作られております。環境分野でいうと、牛久市はゼロカーボンシティという宣言をしているので、例えば企業誘致の分野でもゼロカーボンに対応した企業誘致ではないかとかいう意見もいただきました。</p> <p>そのほか、高齢化への対応といった課題については、各分野にも表現したほうがいいのではないかと、そういった個別の意見が出てきました。最終的には、全般に関わるような、社会情勢や循環型社会、高齢化社会といった問題は、各分野を横串で刺すような形でちゃんと表現をしましょうというところを整理しようということで意見がなされました。</p> <p>この会議の資料までは、取りまとめには至っておりませんが、今後素案を作っていくに当たっては、そういったまとめ方をさせていただくことを考えております。いったんそのような意見として、お伝えいたします。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。まだ途中段階ではありますけれども、総合計画の審議会でもそういったご意見をいただいております。資料には反映できてございませんけれども、ご提示させていただいているところでございます。</p> <p>では、また素案などが出てまいりますけれども、いったんこの課題の整理というところで、足らざるところ、あるいはこういうのを入れたほうがいいんじゃないかといったご意見等ありましたら、ぜひお願いできればと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>まだ途中なので、一回全体の説明を行ってから、またお伺いする形にしていいですかね。なかなか全体像がつかみづらいと思いますので、全体を説明させていただいた後に気になるところがあれば、ぜひご発言をお願いしたいと思います。</p>

議事(3) 牛久市人口ビジョン(案)

議事(4) 総合戦略の策定に向けた課題の整理と骨子案

発言者	内容
事務局	資料に基づき、牛久市人口ビジョン(案)および総合戦略の策定に向けた課題の整理と骨子案について説明。
会長	これも先週の会議でいろいろ意見が出たと思うので、少しご紹介いただけますか。
事務局	人口ビジョンについて出た意見としては、牛久市の人口移動の特徴は20代台の女性が転出し、30代まで減少が戻らない点であることを第1回の会議でお示ししていました。その後の分析はどうなっていますかというご意見が出されていました。
会長	加えて、出た質問としては、国全体の動向が資料に記載がないため、国と比較して、牛久市の位置付けはどうなのか、というご質問もあったかと思います。その点、ご説明をお願いします。
事務局	<p>では、私から説明をいたします。</p> <p>市の人口ビジョンということで、牛久市だけの情報を集約してしまったところですが、当然に日本全体で人口が減少しているという状況がございます。資料にある社人研の推計は全国の推計も出されており、既に全国で1億2,000万人を切っているところでございます。このままですと、2060年には8,000万人台まで行くという推計が示されています。</p> <p>同様に同じカーブを描いているところですが、牛久市は、地方自治体の中でも地理的な優位性があると思っております。いわゆる首都圏に位置し、鉄道駅や道路網が非常に有利な状況にあって、それから、ベッドタウンとして形成された経緯から既に住宅地などの基盤が整っているというところがあります。郊外といいますか、過疎地等と比べると有利な点だと思っております。</p> <p>全体が減っていく中でも、そういった条件や施策をどう表現して、この目標値に向かっていくのかを検討し、設定したものとなっております。</p> <p>今後、取りまとめ方なり、同じように背景が分かるように全国的な問題や他自治体の事例など、そういったところを比較して見やすいような形を取っていきたいと思います。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは、ご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>ちょっと分かりづらかったかもしれませんが、人口ビジョンについては、委員から、従来よりご指摘いただいています女性の若年層の転出が戻ってこないというところを、もっと分析を深掘りしていただきたいというご指摘いただいておりますが、お返しできておりません。申し訳ございません。そこを踏まえて、もっと対策を考えるべきではないかというご意見を頂いております。</p> <p>一方で、今あったように、将来人口については全体から比べればそこまで減ってはいないという状況がございます。資料5では、そこを踏まえた今後の方向性というものが骨子案として基本目標ごとに出されていますので、主に資料4、資料5に関してご意見等いただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。</p>

	<p>今後、特に資料5のことですけれども、今後どういった方向性で人やまちづくり等を進めていくのかというところがいろいろ足らざるところがあると思います。もっとこういうところに着目すべきであるとか、こういう施策をやっていくべきだ等のご意見、あるいは、もっとこんなところが課題ではないかというところでもよろしいかもしれません。</p>
委員	<p>現状をよくまとめられているかと思いますが、欠点はいろいろあるまちだと思います。でも、メリットというか長所、可能性の話があまり出ていなくて。例えば、牛久沼の可能性。あと、市になろうとしている阿見町ですが、例えば阿見東インター、もしくは牛久阿見インター、そういうところの近くに、宅地を随分造ったんですね。</p> <p>恐らく東京からリタイアしたら帰ってくる人がいるのかもしれないし、新しく来る人がいるのかもしれない。どういうポイントを伸ばすか。例えば、僕がちょっと不思議だなと思ったのは、牛久の中で結婚する人の数を増やすことです。これは、本当にできるのかというのは思っています。</p> <p>だから、例えば、東京からこちらに戻ってくる人を探すキーポイントとしては、何かやり方は考えなくてはいけなかなと。そうすると1つは土浦・竜ヶ崎線。これはかなりできていますが、まだ、今の2車線が残っている。もう1つは竜ヶ崎・阿見線。これは工事中なので可能性はあると。</p> <p>そうすると、どういう企業を誘致したらいいのか。例えば、サーバーセンターだけを持つてくるとか。千葉県でもサーバーセンターをつくって貸し出ししている。そういった発想を出さなくちゃいけないと思います。例えば、ここは、もう70年、100年洪水はない。そうすると今は高台が、結構空いてる部分があるので、そういうところにきれいな、例えば、サーバーセンターのようなものが考えられると思います。</p> <p>だから、今のインフラができるところを目指して、何ができるかをちょっと想像できないかなと思う。そうすると、変な言い方ですが、僕らも含めて市の職員はセールスマンで、牛久はいいんだということを企業、銀行、例えば、阿見との連携といった、いろいろ楽しくなりそうなことがたくさんあると僕は思っています。なるべく、仕事だからやらなくてはいけないというのはありますが、楽しくなるように考えたいと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。この素案のところをいくと、基本目標の3の、例えば「活力ある産業の創出」、あるいは基本目標4の「魅力的な地域づくり」とかに関わります。一部ご指摘の部分は言われているところで、それをもう少し掘り込んでいければというご意見だと思いますが、事務局、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。今後可能性のあるところを表現していくべき、というところのお話でございました。ありがとうございます。</p> <p>以前の会議でもちょっと触れさせていただきましたけれども、道路ができるといったインフラが整うと新たな土地の利用というのは動く可能性は十分にあります。現段階で土地利用のルールまで一緒に変更するという予定はしていないところではありますが、例えば、企業誘致の話は、市として推進しているところです。</p> <p>ただ、この計画は4年間の計画を立てていきますので、先の4年間で政策的に実施す</p>

	<p>ることが決定しているようなものは名称も含めて載っていくものもあろうかと思えます。ある程度、方針を示すような表現になっていくのかなとは思っています。</p> <p>可能性を排除するような表現にならないようにというところと、今後、政策的に実施していくような決定がなされたものは、積極的にそういった表現をして、まとめていくことを考えております。</p>
会長	<p>これは意見ですけれども、例えば、圏央道の4車線化や、先ほどお話が出ていた竜ヶ崎・阿見線バイパスの話といったインパクトが大きい事象がこれから出てくようとしているので、それを踏まえた書き方というのは、いろいろあると思います。そういった事象は、大きなトピックですので、それを取り上げて、可能性が広がるんじゃないか、というところは検討できる気がします。事務局でもご検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>はい。時代背景もあり、今回のこの総合戦略そのものも名前を変えまして、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」から、「デジタル田園都市構想総合戦略」になります。これは国の方針にならって、デジタルをフルに活用して、地方創生にも当たろうということを表現しています。政策的に資金が必要、財源が必要な中で、こういった背景を十分に施策に生かして、国から交付される交付金などを活用していくというのが、基本的な流れになっているというところですよ。</p> <p>国の制度等も積極的に活用して、地方の政策を実現していくというような仕組みになっておりますので、ご理解いただければと思います。</p> <p>今のインフラ関係の背景であるとか、そういったところも含めて総合戦略においても整理していきますので、背景の部分をどう落とし込んでいくのか、そこから広げた可能性をどのように表現することが可能なのかを視点として、今後取りまとめたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。いずれにしても、まだ骨子の段階なので、今のようなご意見をいただいて、取り入れていければと思っております。</p> <p>取りあえず、今のご回答については、以上のような形ですが、ほかにご意見あれば、積極的にいただければと思います。</p>
委員	<p>しごとの関係のところになりますが、今、話のあった企業誘致の話です。現時点も企業誘致をされていると思いますが、それは、奥原の工業団地や南桂の工業団地のことを言っているのか、それとは別に場所を用意されているのでしょうか。</p>
委員	<p>確かに、そうですね。桂のところも発展形ですよ。あとは、全く新しい、2車線道路が完成するのが多分2年以上先だと思うので。</p>
委員	<p>造成するというものもないのでしょうか。</p>
委員	<p>それも検討しなければならぬですよ。要するに例えば、Googleとか、そういうビッグネームがあるんですが、そういう意味では、可能性をどう探っていくのか。うちは田舎で静かに生活したいという人がいいのか。それとも、いつも東京行かなくてはならないのではなくて、ここで仕事できるよとか、やっぱり発想の転換がどこかに必要だと思います。それにはインフラが関わったり、その中の流れが関わったりするので、答えは分かりませんが、どういうのが一番いいのか。これはみんなで楽しく、自分が楽しくなるよ</p>

	うに考えていかななくてはいけないですねと思っています。
会長	事務局のほうでお願いします。
事務局	<p>今、委員からありました既存の企業、工業団地は基本的には空きがないので、現在牛久市でも新たな可能性について、茨城県の協力も得て、開発の可能性調査のような形で取り組んでいるところです。場所がどこだという段階ではございません。</p> <p>これまで工業団地に代表されるような、製造業を中心とした企業誘致、奨励金の交付を制度として持っておりましたが、本年度から、事務系の企業にも優遇措置を設けており、牛久駅周辺への事務系オフィスの誘致も含めて対応できるように支援制度を設けました。まだ実現には至っていませんが、本年度から制度を設けて対応しており、全般的に企業誘致を進めているという状況でございます。</p>
委員	<p>圏央道ができて、一番喜んでいるのは阿見町ではないかという感じを受けます。牛久の場合は、圏央道ができて、岡見や女化も利便性がありますよね。女化原台地は明治天皇が砲弾の演習の視察に来たという、非常に歴史のある場所です。奥野は奥野でまたいっぱいありますよね。なんで牛久は地の利を生かせないのだろうかと話していると、いろいろと美辞麗句は並べられておりますが、牛久をこうしたいというのが実際に生かされて実践されているのか、実感がないのですよね。</p> <p>総合戦略を重ねるのはもちろん必要ですが、もうちょっと実践してほしいというのが市民感覚としてあります。</p>
会長	分かりました。ありがとうございます。事務局、いかがでしょうか。
事務局	<p>基本的な計画ということで、総合計画・総合戦略につきましては、方針が並ぶような形になるというのはやむを得ないと考えております。</p> <p>今の企業誘致の話もインフラの整備も、総合計画・総合戦略を受けて、各個別に各部署で計画を持っています。その計画自体も基本計画と呼ばれるようなものもたくさんありますが、そこから事業を具体化していくというところで、総合計画の説明をその後に行わないことが多いですが、本来政策のこの部分がこの事業に当たるものです、という仕組みが実際にはあります。</p> <p>なので、そこはわれわれ政策を行った上で、皆さまにお知らせする、もしくは、総合計画とはこういうものだというお知らせが足りないのかもしれない。当然実践が足りないのではないかという部分については、真摯に受け止めて、実際にどの程度できているのかをもう一回検証しなくてはならないと思います。</p> <p>また、皆さまへのお知らせの仕方もあるのかなと受け止めたところでございます。</p>
会長	ありがとうございます。またご意見等頂戴できればと思います。
委員	<p>イメージがいまひとつ湧かなかったのが、資料5の基本目標1のところ「ワーク・ライフ・バランスの実現支援」とあります。例えば、ライフだったらこういうことができるという想像はできますが、ワーク・ライフ・バランスという観点で、市としてどのような取組をやっていくのか、いまいちイメージが湧かないというのが1つ目です。</p>
事務局	<p>市で「ワーク・ライフ・バランスの実現支援」ということになると、例えば、中小企業での休暇の取得や、ワーク・ライフ・バランス研修などがございます。</p>

	<p>わが身になれば、市役所職員の休暇支援、休暇制度などの待遇です。育休の取得がしやすくなるようにとか、弾力的な勤務体系を可能に、といったことになります。</p>
委員	<p>牛久で働いている人の、といった感じになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
委員	<p>基本目標4の観光の数値目標で、観光協会のホームページアクセス数やフォロワー数とありますが、単純な観光客数、例えば、牛久大仏にどれだけ来て、シャトーにどれだけ来て、文学館のほうがこのぐらい少ないなどの数で見えていったほうがいいのではないのでしょうか。もちろんアクセス数やフォロワーも大切だと思いますが、移動の実数、ここここは行っているけど、ここへは全然来ていないから、来てもらう流れを作ったほうがいい、などといったことが分かるかと思うのではないかと思います。</p>
事務局	<p>それについては、「市イベントの来場者数」というのを基本目標2で使っております。</p>
委員	<p>見ました。</p>
事務局	<p>再掲にならないようにということで、少しひねったところもございます。 「市イベント来場者数」が基本目標4にもふさわしいものですので、再掲ではあります。こちらにも指標を掲載すると、分かりやすくなると思います。</p>
事務局	<p>市イベント来場者数はイベント数とは見方が少し異なります。あくまでも案の段階です。やはり特に今、市では牛久シャトーを推していますので、来場者数は確かに重要な一つの視点になると思います。 ですので、目標値につきましては再考も検討します。よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>補足ですが、第2期では、観光の入り込み客数を指標にしております。この素案の整理で大分絞って提案をしましたが、まだまだ叩かなくてはならないと捉えております。既存のものも残したほうがいいのかというご意見かとも思いますので、検討したいと思います。</p>
委員	<p>基本目標4-3の「安心して生き生きと暮らせる地域づくり」というところの最後の「自然環境の保全・地域循環型社会の推進」について、地域循環型社会、多分ゼロカーボンや、バイオマスタウン構想が入ってくると思います。基本的方針の中に抜けているといったらあれですが、環境のところは何となく動きが弱くなってしまっているという感じがします。環境のところを基本的方針にも入れ込んでいてもいいのではないかという感覚もあります。</p>
事務局	<p>基本目標にということでしょうか。</p>
委員	<p>基本的方針というのかな。標題のところには、「地域循環型社会」と入っていたので。</p>
事務局	<p>実は第2期の総合戦略を立てた時には、環境面での議論は行っていませんでした。国の総合戦略の体系の流れでやっていて、環境は実は牛久の案には入っていなかったという流れがあります。 同時期に環境基本計画を大々的に改定したこともあり、環境部局から素案に提案があって入ってきたという経緯があります。つまり、牛久市にとっては、そこは重要であろうところを整理したという流れがあり、その割には表現が足りないところがあるかと思う。もしくは、環境で、いわゆる地方創生、人を呼ぶために直接的な取り組み</p>

	<p>がどう充てられるのかも、考えるのは難しかったというところがありました。</p> <p>体系のところと並んでいて、右側の方針に表現されていると、やることが非常に分かりやすい。そこがないという状態ではありますので、具体的に循環型社会をどのような方針で取り組んでいくか、表現を考えたいと思います。ありがとうございます。</p>
委員	<p>あと1点。「横断的目標」のところ、最後のところこそ数値目標があってもいいのかなと。市役所の待ち時間や窓口業の割合など、DXの割合をいろいろ出せるのかなという感じを受けました。</p>
事務局	<p>現行の計画の中では、シティプロモーションに関して、市の情報発信にてインターネットが効果的に活用されていると感じる市民の割合ということで目標値が設定されていました。現在はお示ししていないため、横断的目標2つ、シティプロモーションとデジタル化を活用した目標について、数値目標を立てたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。時間も迫ってきました。その他のご意見は、いかがでしょうか。ご意見を賜ればと思います。</p>
委員	<p>大きく3つあります。社人研の予測に抗って人口8万1,000人台を維持しようとしており、その施策が資料5に取りまとめられています。ここで書かれている方針が実現できれば、8万1,000人台をキープできるというエビデンスが欲しい、というのが僕の意見です。</p> <p>なぜかという、ここに並んでいる文言にはオリジナリティーがない。もちろん牛久シヤトーは牛久市にしかないのも、そういうところのオリジナリティーなのかもしれませんが、並んでいる言葉は、近隣自治体でも書いているようなことがずらっと並んでいる。出合いを求めるとか。牛久市ならではの全てが戦略というのが欲しい。悪い言い方をすると総花的になってしまっているということ指摘しておきたいと思います。</p> <p>それと、最初の表を見た時に、順番が変えられているので、何で変えてしまったのかと思いました。僕、「観光まちづくり」という言葉が大嫌いで。まちづくりは住んでいる人のためにやる話です。「観光」と付くと、よそ者ですね。4章の中はよそ者が最優先に書かれている、と僕は読みます。それより住んでいる人が第一でしょう。優先順位を間違えないでいただきたいなというように思います。</p> <p>それと3つ目は、シティプロモーションは、今、何をやっていらっしゃるのでしょうか。これは単純に質問で、DXと今やっていらっしゃることとの関係が全然見えなかったのので教えていただければと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。事務局からどうぞ。</p>
事務局	<p>まず1つ目。社人研の推計に対して人口ビジョンを示した案になりますが、市で施策を打って、そこまで持ち上げようという目標にしています。ほかと同じことをやっても同じ結果にはならないと思います。もちろん牛久市の土地・形に合った、市独自のことをやっていこうと思っておりますが、この段階で表現として総花的になっているというのは、事務局としても認識しているところです。</p> <p>市長も替わって政策も転換する部分もあるというタイミングでもございますので、この4年間どういった形でどういったものを目玉にしていくといった表現は必要かと思っ</p>

	<p>ております。総合計画と併せて、表現を整えていきたいと思いを。</p> <p>2つ目の「観光まちづくり」。基本目標4の1と2が逆転したという話ですが、事務局の案として、特に観光を前にしたという認識はなく、市民にも観光客にもというところと、あとは、地域ブランディングを押し出すことを考えています。そのため、順番を逆転したという認識であります。市民が後回しなり、二の次になるという部分がないようにまとめ方を検討したいと思いを。</p> <p>シティプロモーションについては、牛久市としてシティプロモーションという部分は当然広報であるとか、情報発信の部分はやってきたところですが、少し弱いという指摘をされてきていました。今、地域ブランディングという言葉もここに入れましたが、本年度から組織改編されて、営業戦略課という名前で営業的・戦略的に牛久市をプロモーションしていこうという形を取っております。</p> <p>早速、第三者的な意見をもらうようなところを検討したり、転換を図ったりしていこうというところがございます。具体的な動きというのは、今のところは、今まであった情報発信や広報活動等を拡充しているというところにとどまっておりますが、今後さらなる推進ができるようにというところですので。お答えにならなくてすみません。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。ちょっと補足させていただきます。</p> <p>本当におっしゃるとおり、エビデンスはこれからつくっていかなくてはならないので、事務局に頑張ってください、私ももちろん加わりますけど、みんなで頑張ってくださいと思いを。</p> <p>あとは、最後のシティプロモーションのところ、営業戦略課を4月に新しく立ち上げたのですが、今はふるさと納税を中心にやっています。また、ロケ地支援を今やっています。テレビで「秋山ロケの地図」という深夜番組で一部出たことがありますが、なかなか番組が表に出るまでは公に出せない部分もあります。水面下でやっているところがありますが、プロモーションとは結局売り込みですから、そこまでできているかはこれからの課題です。どういうプロモーションができるのかというのは、今、9月補正で外部のアドバイザーを入れて、プロモーションのアドバイジングをお願いしているところですので、そういった方のご意見を頂きながら、まさにこれから取り組んでいきたいと思いをしています。ちょっと蛇足ですけども、補足させていただきました。</p> <p>あと、ご意見等ありましたらお願いいたします。よろしいですか。</p> <p>この後も会議など、折に触れてやりたいと思っておりますので、今日の議論のところは以上にいたしまして、事務局へお返ししたいと思いを。本日は貴重なご意見、ありがとうございました。</p>

以上